

2010年度 決算説明会



2011年6月3日

関西国際空港株式会社

Kansai International Airport Co., Ltd.

<目 次>

I 2010年度の決算概要 及び 関西国際空港の現況

II 2010年度の決算詳細 及び 2011年度の資金調達

I 2010年度の決算概要 及び 関西国際空港の現況

はじめに ～2010年度について～



24 時間、こころ動かす空港

KIX

KANSAI INTERNATIONAL AIRPORT



© 2005 TATSUNOKO/C-LAB



4つの関空成長エンジン

- ①LCC（ローコスト・キャリア）の積極的な誘致
- ②関空の特長を活かした貨物ハブ機能の強化
- ③中国を中心としたインバウンドの更なる強化
- ④商業事業収入の拡大

1. 空港運営の概況

	2009 年度	2010年度					
		通期		上半期		下半期	
			前年比		前年比		前年比
航空機発着回数 (万回)	10.9	10.7	98.3%	5.5	98.2%	5.2	98.5%
国際線	7.4	7.6	102.9%	3.8	102.5%	3.8	103.2%
旅客便	6.1	6.0	98.8%	3.0	98.7%	3.0	98.9%
貨物便	1.2	1.5	121.4%	0.7	120.9%	0.7	121.8%
国内線	3.5	3.1	88.7%	1.7	89.9%	1.4	87.3%
航空旅客数 (万人)	1,352	1,418	104.9%	750	111.9%	667	98.0%
国際線	957	1,040	108.7%	538	118.3%	502	99.9%
日本人旅客	643	666	103.5%	333	108.5%	332	98.9%
外国人旅客	289	346	119.8%	192	142.6%	155	100.1%
国内線	394	377	95.7%	212	98.4%	165	92.4%
貨物量 (万トン)	63	75	118.3%	38	129.6%	37	108.8%

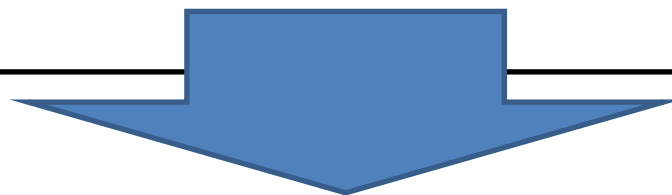
2. 経営成績（連結損益計算書）の概要

（単位：億円）	2009年度	2010年度	増減	対前年比
営業収益	865	894	29	103.3%
営業費用	739	703	▲36	95.1%
営業利益	126	190	65	151.5%
経常利益	9	83	74	895.4%
当期純利益	1	73	72	—

3-1. 今後の重点的取り組み

4つの関空成長エンジン

- ①LCC(ローコスト・キャリア)の積極的な誘致
- ②関空の特長を活かした貨物ハブ機能の強化
- ③中国を中心としたインバウンドの更なる強化
- ④商業事業収入の拡大

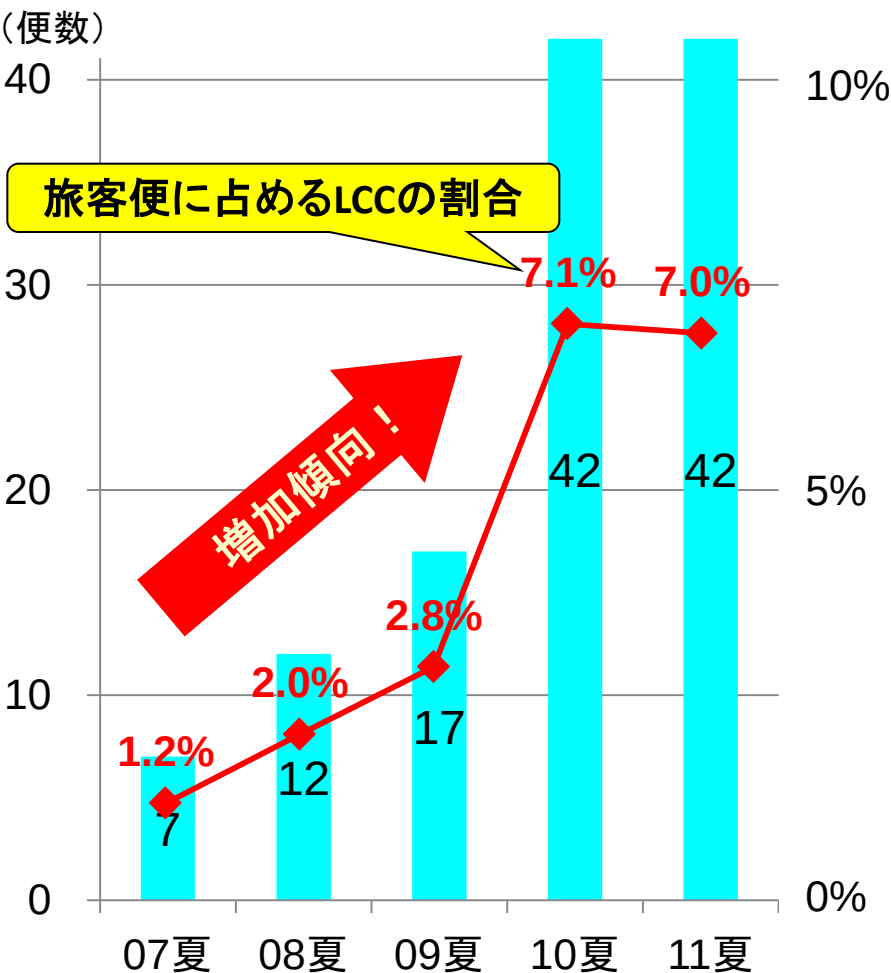


取り組みの更なる強化による成長の持続

3-2. 今後の重点的取り組み① (LCCの積極的誘致) ～LCC就航の高まり～

今後の関空の成長に、重要かつ不可欠となる、LCCの積極的な誘致

関空のLCC就航便数・割合の推移



関空に就航しているLCC



(注) 2011年夏期スケジュールは計画値。

3-3. 今後の重点的取り組み①（LCCの積極的誘致） ～関空を拠点とするLCCの就航①～

1. 事業者名

Peach Aviation株式会社

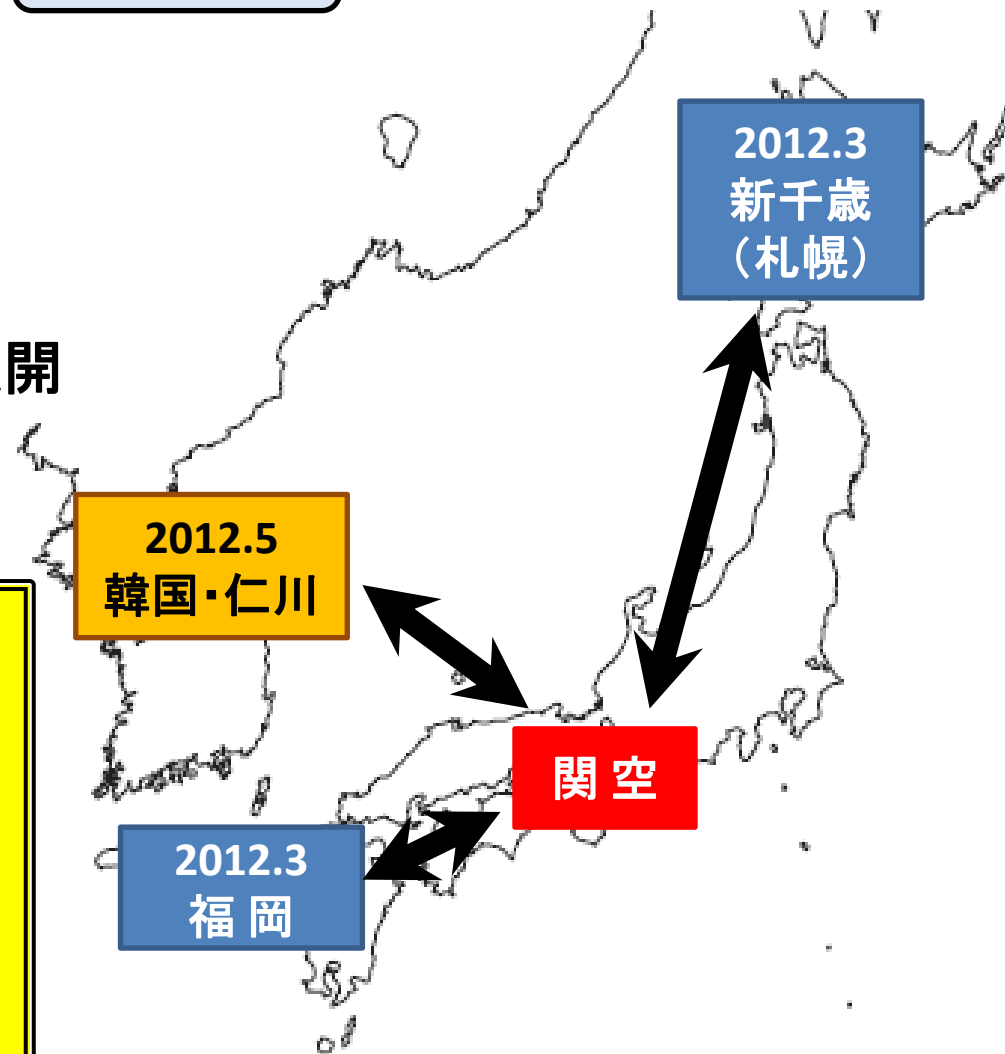
2. 事業内容

関西国際空港を拠点とした、
国内線および国際線LCC事業の展開



- ①ANAから独立した事業運営
- ②単一機種による高稼働運航・
シンプルな旅客サービスによる、
既存航空会社と大きく差をつける
低運賃（目標：半額）の提供

3. 就航先



3－4. 今後の重点的取り組み①（LCCの積極的誘致） ～関空を拠点とするLCCの就航②～

4. 使用機材

エアバス320

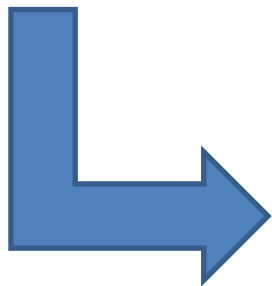
⇒事業開始5年後に、
15～20機を受領予定



【航空機デザイン】

5. 想定利用者数

年間 約600万人（事業開始5年後に、15～20機受領した場合）



「年間600万人」とは・・・
当空港における、2010年度 航空旅客数全体の
約4割に匹敵！

3-5. 今後の重点的取り組み①（LCCの積極的誘致） ～関空を拠点とするLCCの就航③～

6. LCC関連施設の概要

拠点LCCのビジネスモデルを最大限発揮できる
日本初の本格的LCC専用施設

コンセプト

「機能性・経済性・安全安心」

LCCターミナル

- ・延床面積 約3万㎡
- ・平屋建 一部2階建
- ・国際線・国内線共用
- ・搭乗橋は設けず、
徒歩でタラップによる搭乗

駐機場

- ・9スポット新設
- ・小型機が自走アウト可能

**2012年度 下期
供用開始目標**

3-6. 今後の重点的取り組み①（LCCの積極的誘致） ～関空を拠点とするLCCの就航④～

7. LCC関連施設のイメージ



↓ ターミナルビル内 旅客待合室

↑ ターミナルビル 入口

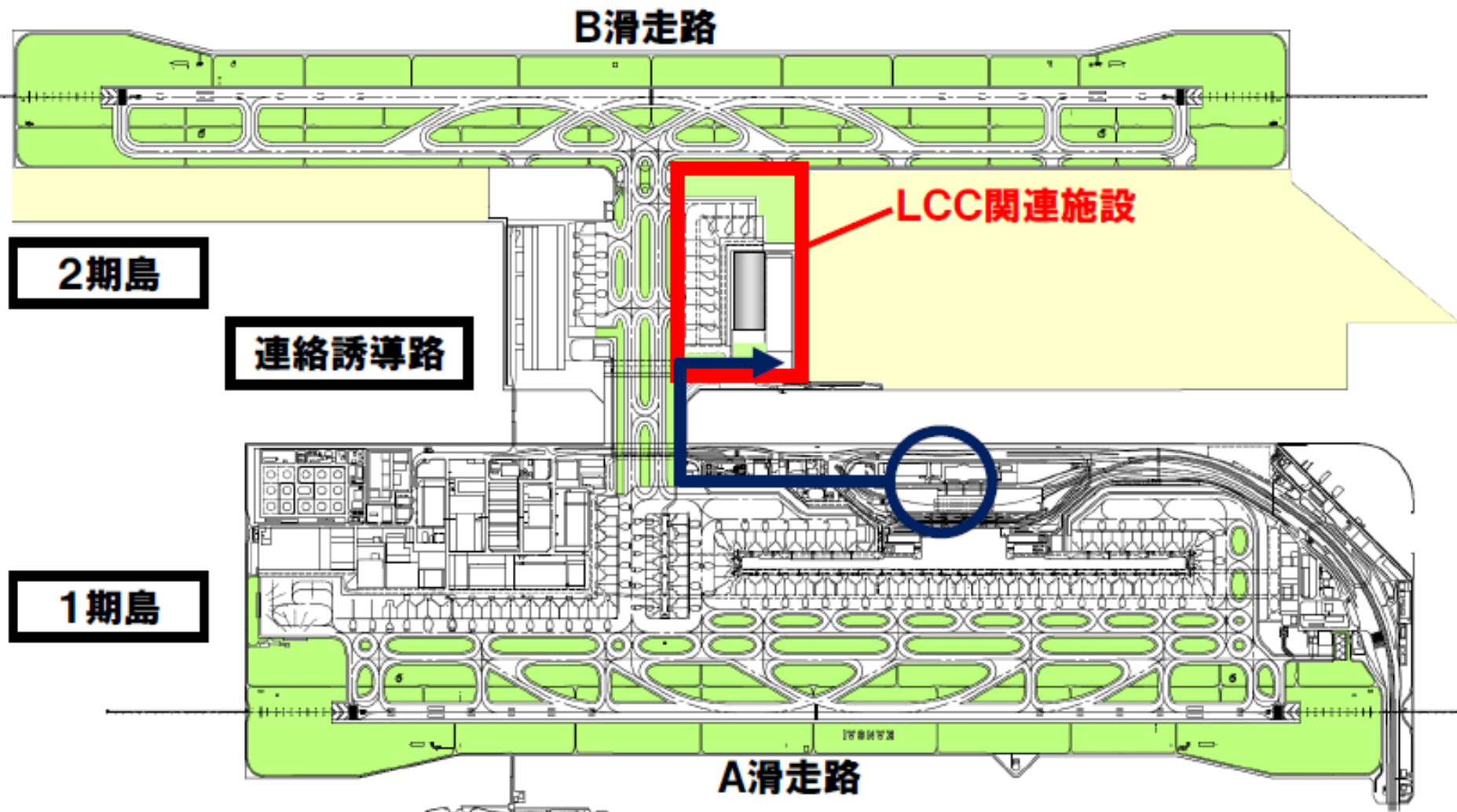


3-7. 今後の重点的取り組み①（LCCの積極的誘致） ～関空を拠点とするLCCの就航⑤～

24時間、こころ動かす空港

KIX
KANSAI INTERNATIONAL AIRPORT

8. LCC関連施設の整備位置

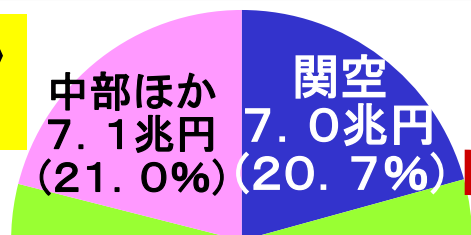


3-8. 今後の重点的取り組み②（貨物ハブ機能強化） ～日本の国際航空貨物シェアと関空の国際貨物取扱額推移～

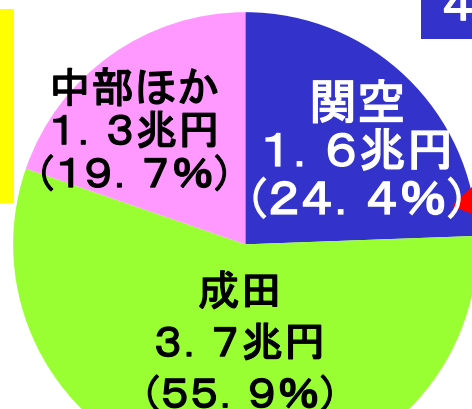
中国に強いネットワークを活かし、対中国貿易における
関空の国際貨物取扱額は、国際航空貨物シェアが24%！

日本の国際航空貨物シェア

《世界貿易額》
33.6兆円



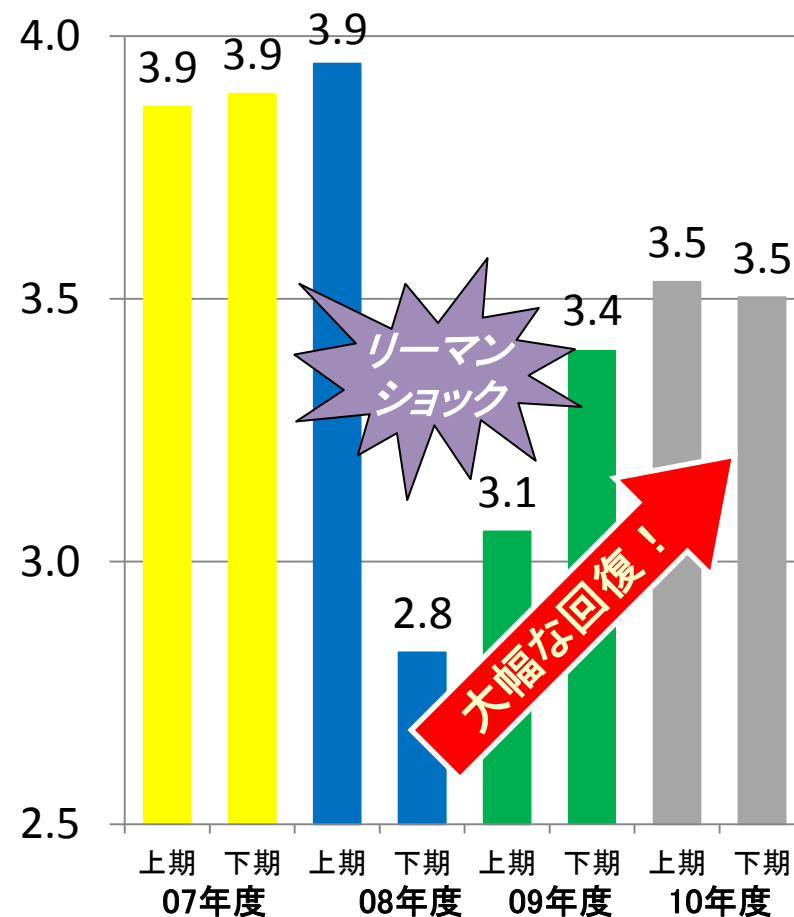
《中国貿易額》
6.6兆円
(全体の2割)



シェアが
4%高い！

(兆円)

関空の国際貨物取扱額推移

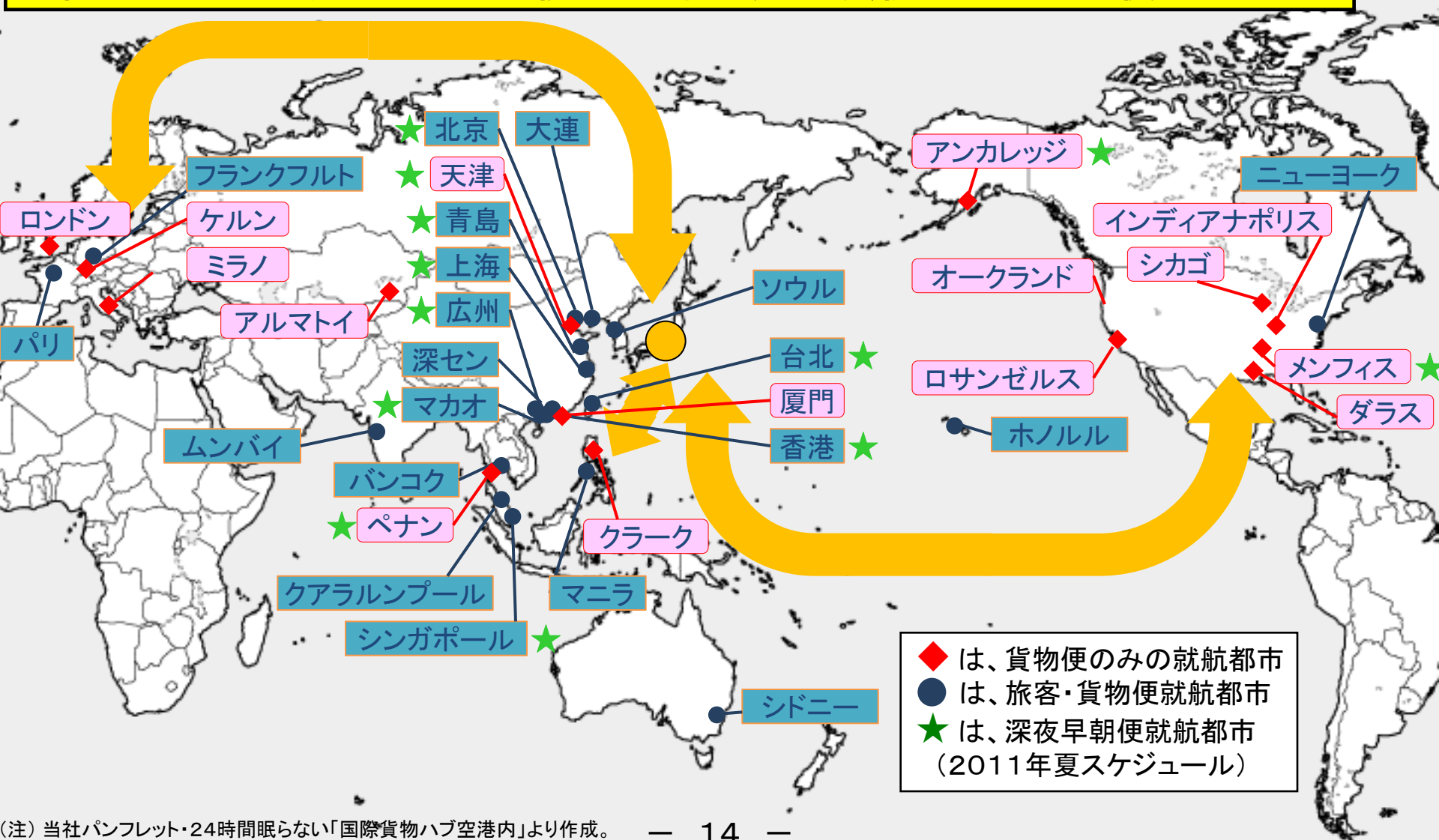


(注)2010年財務省貿易統計(暦年)より作成。

3-9. 今後の重点的取り組み②（貨物ハブ機能強化） ～中継拠点としての貨物需要の取り込み～

世界へ広がる国際貨物ネットワーク

関空はアジアと欧米を繋ぐ中継拠点に位置し、中継貨物の取り込みに優位な立地



(注) 当社パンフレット・24時間眠らない「国際貨物ハブ空港内」より作成。

3-10. 今後の重点的取り組み②（貨物ハブ機能強化） ～成長産業の生産拠点が多く立地する関西～

大阪湾周辺には、液晶パネルやリチウム電池、太陽電池等の生産拠点が多数立地。国際貨物輸送における関空の重要性は高い。



(注) 各社発表資料等から、当社作成。

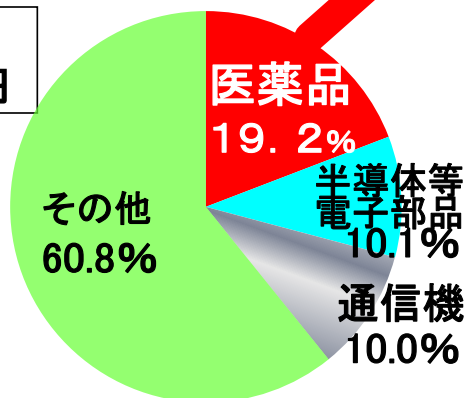
3-11. 今後の重点的取り組み②（貨物ハブ機能強化） ～医薬品専用共同定温庫の整備と更なる活用～

更なる空港機能の価値向上に向けた、
空港内では国内初となる、徹底した温度管理が可能な医薬品専用共同定温庫の整備

輸出入品目別シェア

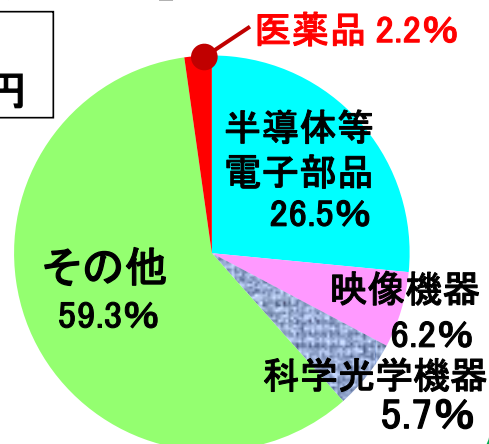
【輸入品目別シェア】

2兆
7,026億円

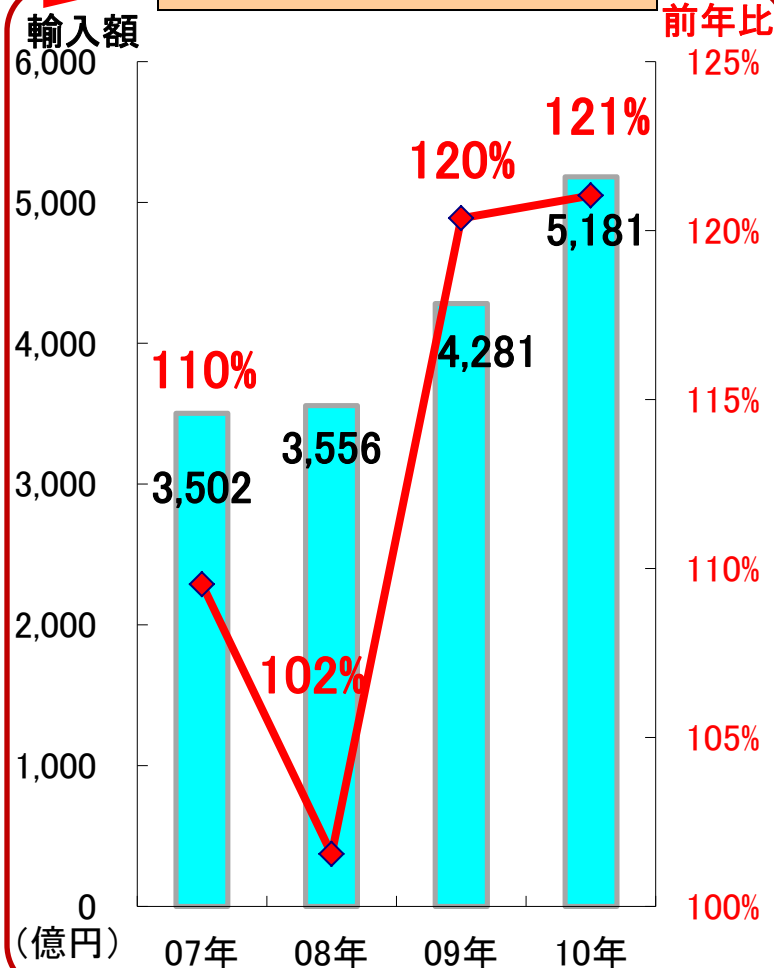


【輸出品目別シェア】

4兆
2,621億円



医薬品輸入額の推移



医薬品専用共同定温庫

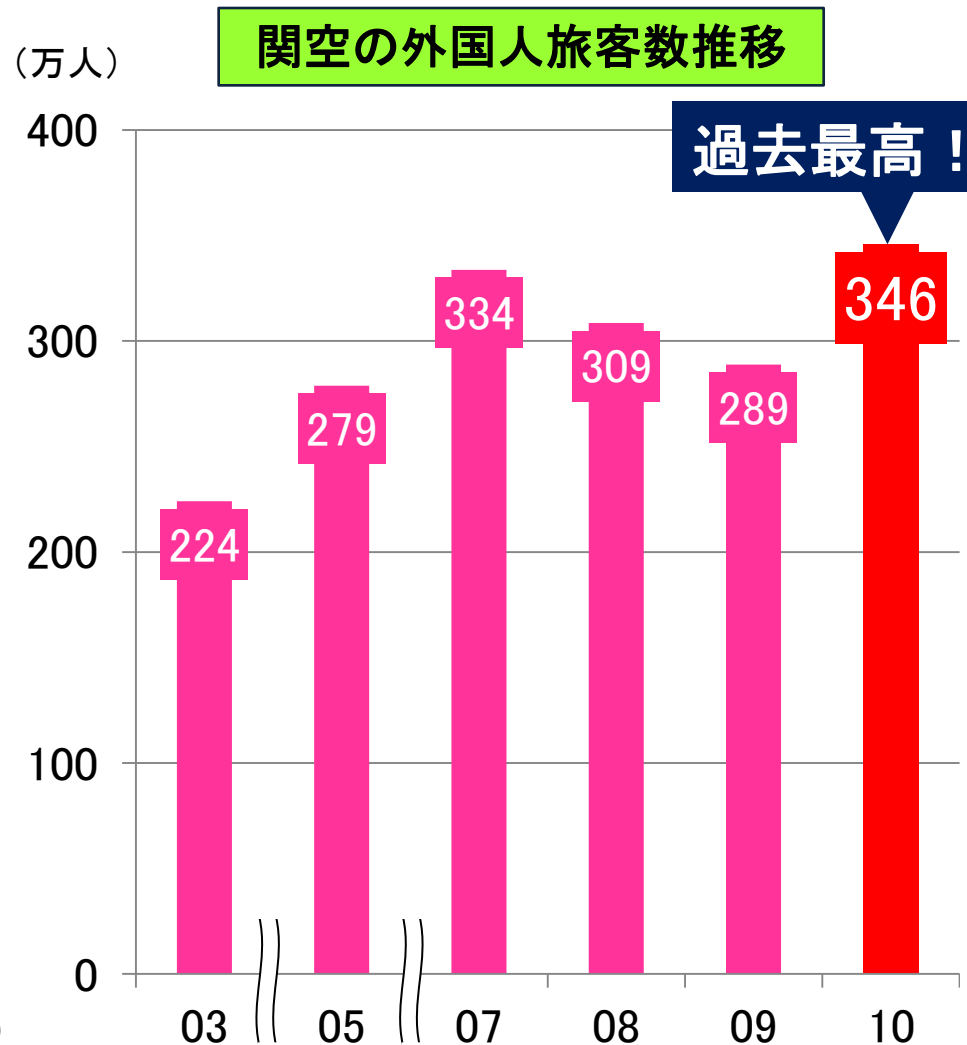
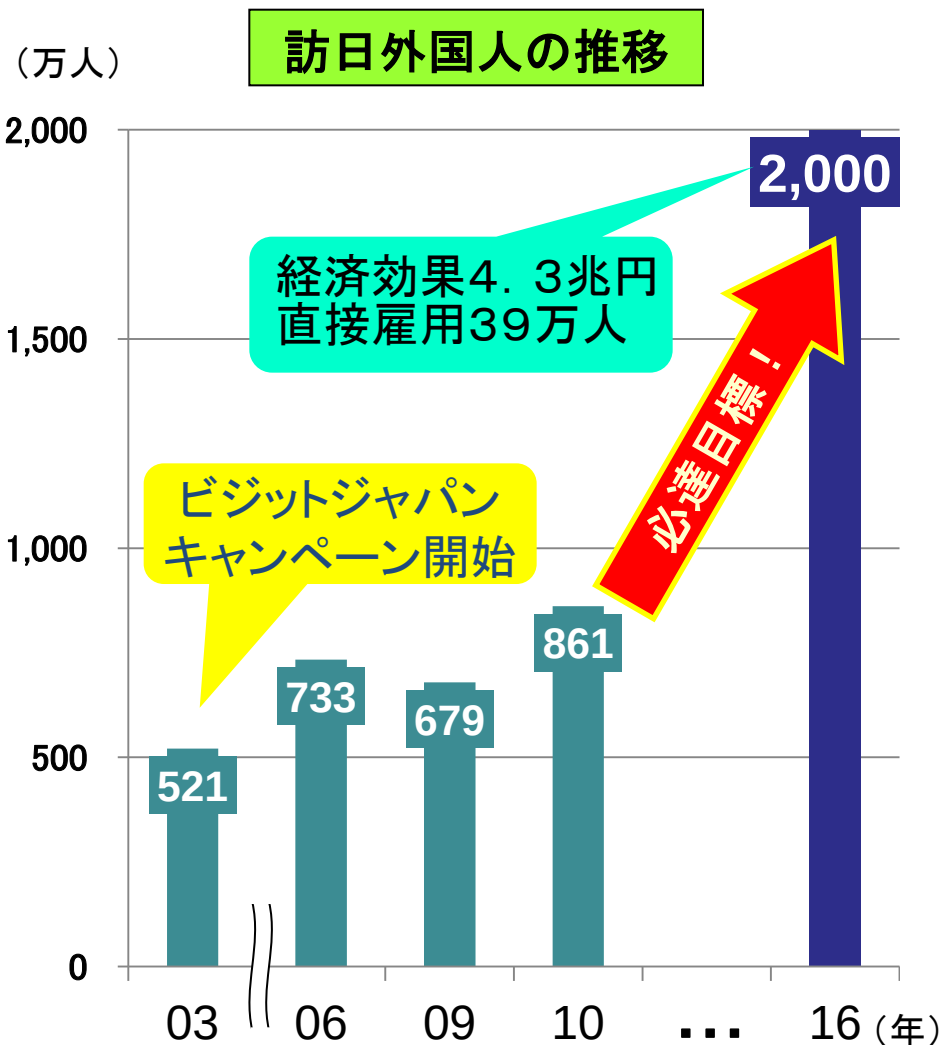
- ◆運用開始:
2010年9月30日
- ◆最大取扱量:
約800t/月
- ◆管理温度帯:
20℃・約650㎡
5℃・約100㎡



(注)2010年財務省貿易統計(暦年)より、それぞれ当社作成。

3-1 2. 今後の重点的取り組み③（インバウンド強化） ～訪日外国人の推移と関空の外国人旅客数推移～

関空における2010年度の外国人旅客数は、**過去最高の346万人**を記録！

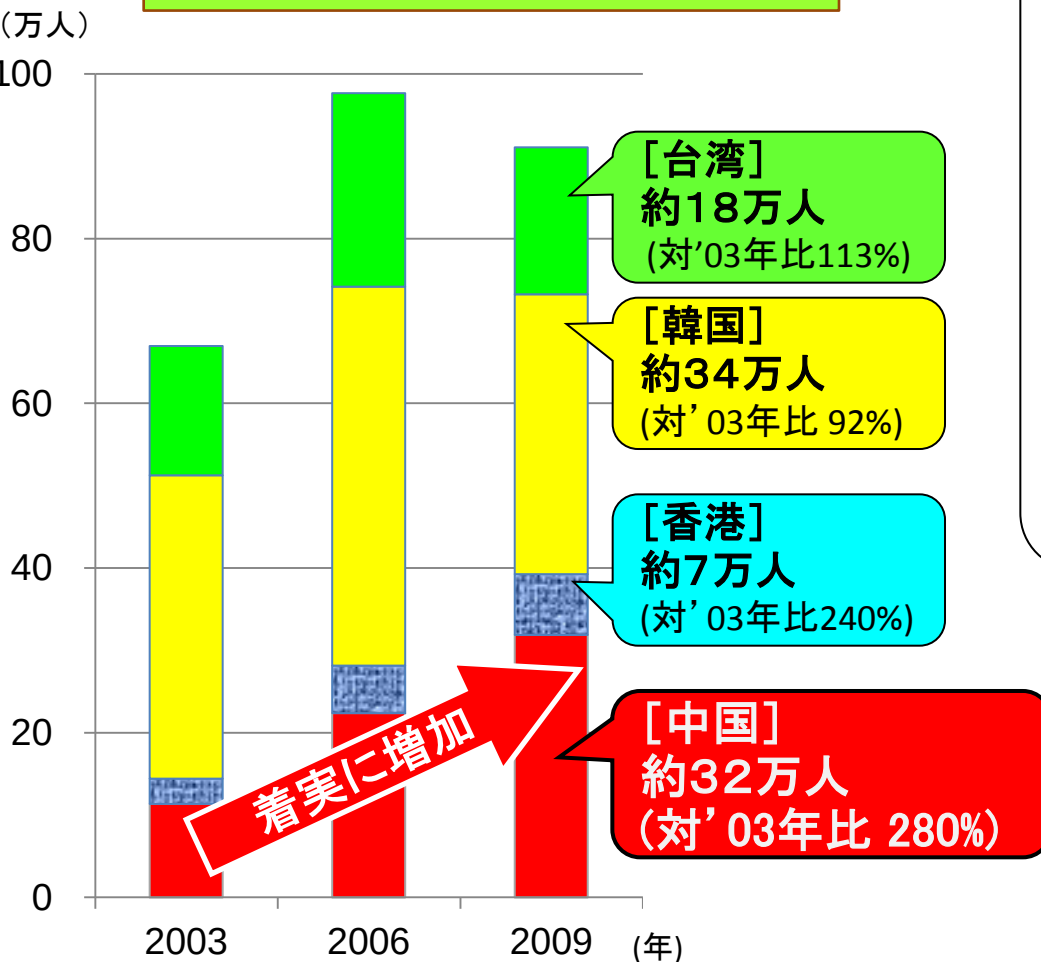


(注) 当社発表資料より作成。通過旅客は除く。

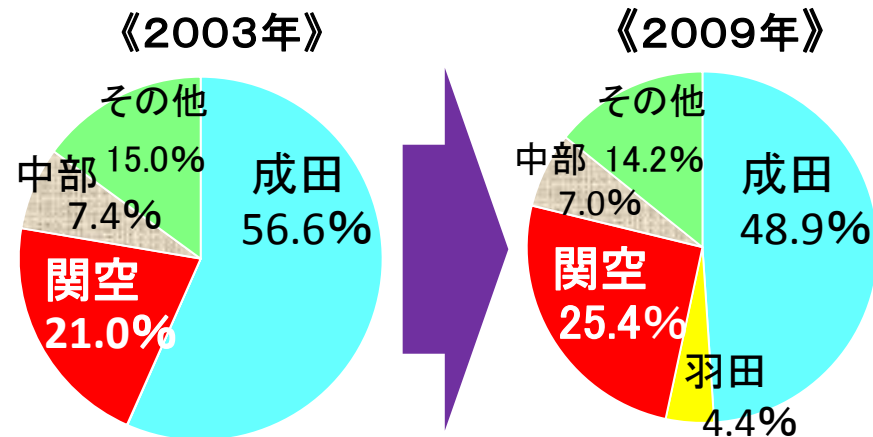
3-13. 今後の重点的取り組み③（インバウンド強化） ～中国を中心としたインバウンドの取り込み～

中国人旅客等の伸びを背景とした、外国航空会社や現地旅行会社へのプロモーション展開

関空の主要国別入国者数推移

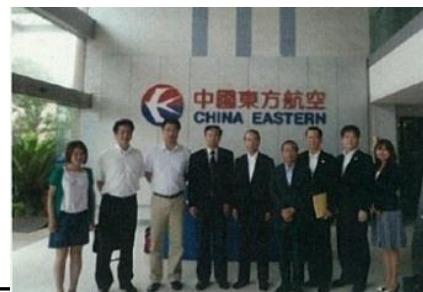


訪日中国人旅客の空港別シェア



関空シェアは4.4ポイントUP
首都圏シェアは3.3ポイントDOWN

中国東方航空 訪問
↓
(昨年7月)



↑ 中華航空 訪問
(本年2月)

(注1) 法務省出入国管理統計をもとに、当社作成。

(注2) 正規入国者(再入国外国人も含む)のみで協定該当者、特例上陸者は含まない。

3-14. 今後の重点的取り組み③（インバウンド強化） ～アジア全体に広がる関空のインバウンド旅客～

中国だけでなく、他のアジア地域からも窺える関空のインバウンド増加

関空への入国者数 増加率
(2003年→2009年)

タイ

2003年→2009年
約198%

ベトナム

2003年→2009年
約180%

日本全体における
訪日外国人 伸び率
2003年→2009年
約132%

関西空港

Copyright(C) T-worldatlas All Rights Reserved.

(注1) 法務省出入国管理統計をもとに、当社作成。

(注2) 正規入国者(再入国外国人も含む)のみで協定該当者、特例上陸者は含まない。

3-15. 今年度の重点的取り組み④(商業事業収入拡大) ～お客様のニーズを踏まえた新規店舗の積極的な展開～

「KIXエアサイドアベニュー」のグランドオープン後も、増大する中国人旅客を始めとしたお客様の動向等を踏まえ、新規店舗をオープンし、商業事業収入を拡大！

2010年3月
KIXエアサイドアベニュー OPEN!



海外ブランド化粧品
の売れ行きが好調！

特に、中国人旅客には、
ブランド時計の売れ行きが
好調！

高級時計「オメガ」
(2011.1.29 OPEN)



ブランド化粧品「Les Cosme」
(2011.3.15 OPEN)



4-1. 2011年度 運営状況見通しの策定 (官民一体となったインバウンド回復への取り組み)

東日本大震災発生後のインバウンド回復に向けた主な動き

- 4月** 18日 香港からのツアー再開
19日 関西広域連合 観光庁に対する緊急要望
29日 中国からのツアー再開
- 5月** 22日 日中首脳会談
⇒「復興支援・観光促進に関する日中協力」
中国人の外国旅行業務取扱免許付与 表明
(5/23 JTB認可)
- 28日～31日 日中韓観光大臣会合
- 6月** 2日 中国観光大臣 来日
⇒関西広域連合 訪問
「中国と日本(関西)観光産業交流フォーラム」出席
- 7月** 20日～23日
関西広域連合 北京・上海プロモーション

4-2. 2011年度 運営状況見通し

	2010年度 実績	2011年度 見通し	増減	対前年比
航空機発着回数(万回)	10.7	10.6	▲0.1	99.1%
国際線	7.6	7.5	▲0.1	99.2%
国内線	3.1	3.0	▲0.0	98.9%
航空旅客数(万人)	1,418	1,359	▲59	95.9%
国際線	1,040	994	▲46	95.6%
国内線	377	365	▲12	96.7%

2010夏スケジュール(実績) 週**736**便 → 2011夏スケジュール 週**761**便
(前年比 +25便)

● 主な新規就航	路線	便／週	就航時期
チャイナエアライン 	ニューヨーク	0→3	4月28日から
ハワイアン航空 	ホノルル	0→7	7月13日から(予定)

4－3. 2011年度 連結業績見通し

(単位:億円)	2010年度 実績	2011年度 見通し	増減	前年比
営業収益	894	858	▲35	96.0%
営業費用	703	720	16	102.3%
営業利益	190	138	▲52	72.7%
経常利益	83	32	▲51	38.0%
当期純利益	73	29	▲44	40.0%

※ 業績予想の適切な利用に関する説明

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、発表日現在において入手可能な情報に基づき作成されており、実際の業績は今後の様々な要因によって上記の予想と異なる可能性があります。

関空の目指す空港像

アジアと関西そして日本を結ぶゲートウェイ

- 企業のグローバル化、観光ビッグバンに応えるアジアのゲートウェイ
- アジア中心の利便性の高いネットワークを備えた首都圏需要も補完する基幹空港
- ローコストキャリア(LCC)やビジネスジェット等、多様化するニーズに対応できる空港

日本唯一の「完全24時間国際貨物ハブ空港」

- 多様化・高度化する物流ニーズに応える特色ある物流拠点
- アジア中心の充実した貨物ネットワークを備えた、アジアと欧米を繋ぐ中継拠点

良質な空港アクセスの提供

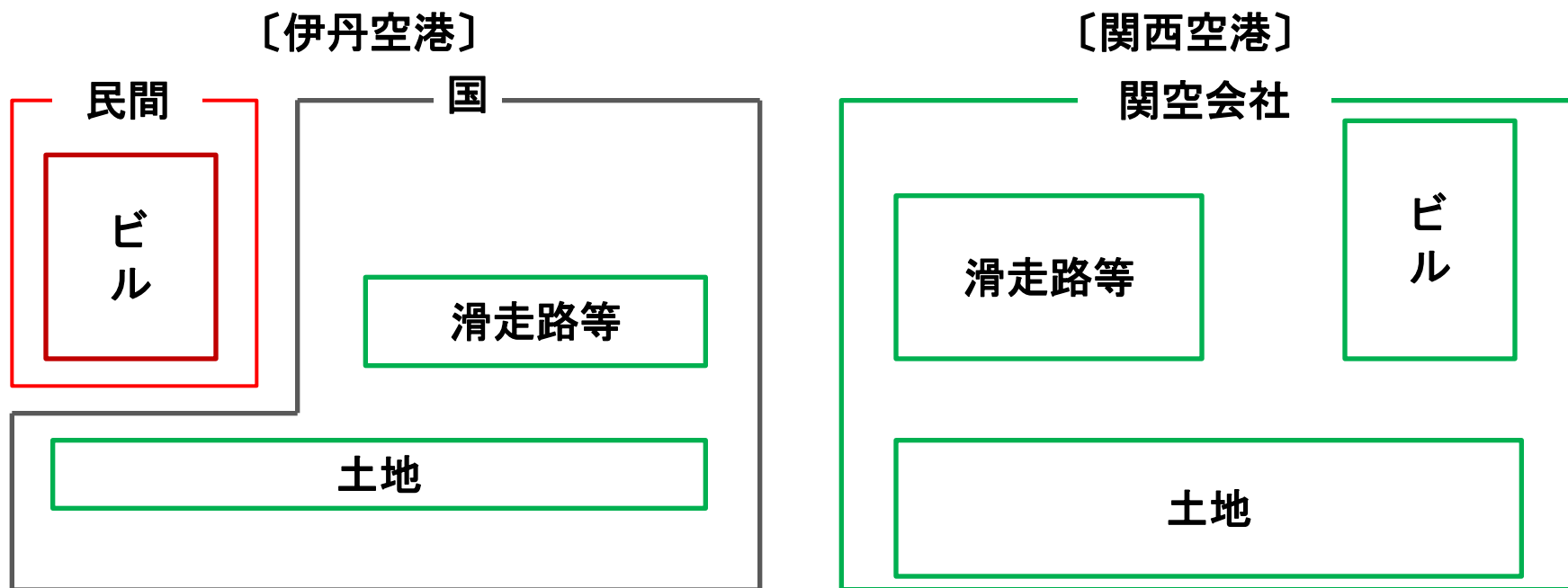
- 鉄道(JR・南海)、リムジンバス(23路線)、高速船等の多様なアクセスの利便性向上

5-2. 目指す空港像の実現に向けた動き ～関空・伊丹の経営統合～

1. 経営統合に関する法律の目的

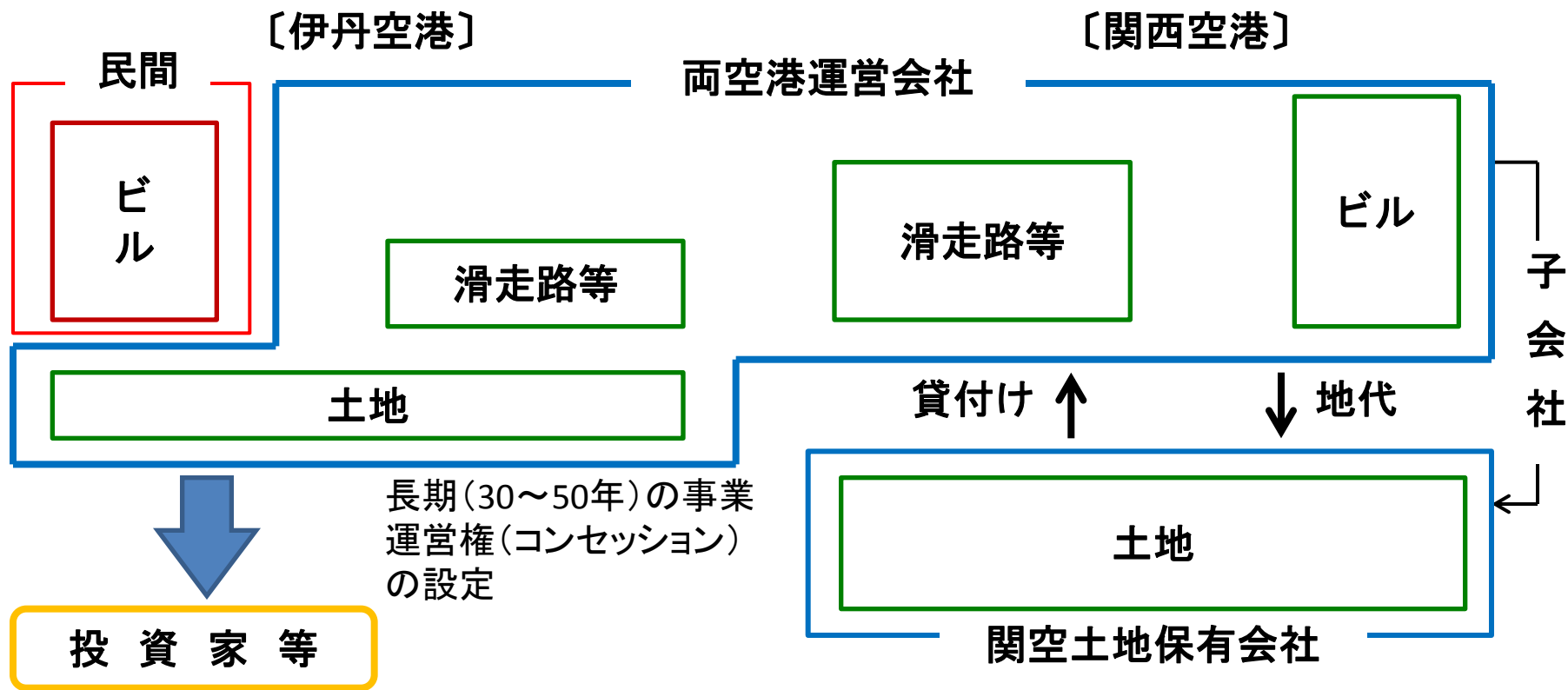
- 関空及び伊丹空港の設置・管理を行う統合事業運営会社を設立し、事業運営権の設定(コンセッション)を通じた、**関空債務の早期かつ確実な返済**を図る。
- 関空の我が国の国際拠点空港としての機能の再生・強化**及び関西における航空輸送需要の拡大を図り、**我が国の国際競争力の強化及び関西経済の活性化に寄与**する。

2. 経営統合のイメージ(現状)



5-2. 目指す空港像の実現に向けた動き ～関空・伊丹の経営統合～

3. 経営統合のイメージ(統合後)



関空と伊丹の経営統合により、関西全体の国際競争力が向上！
(2012年度 前半予定)

6. 最後に ～新ロゴマーク・新スローガンの決定、その思い～

「お客様に認められ、愛され、親しまれる空港」、「日本経済・社会に貢献する空港」を目指し、本年4月26日、新ロゴマークと新スローガンを発表！

24時間、こころ動かす空港



KANSAI INTERNATIONAL AIRPORT

Ⅱ 2010年度の決算詳細 及び 2011年度の資金調達

1. 2010年度 経営成績（連結損益計算書）

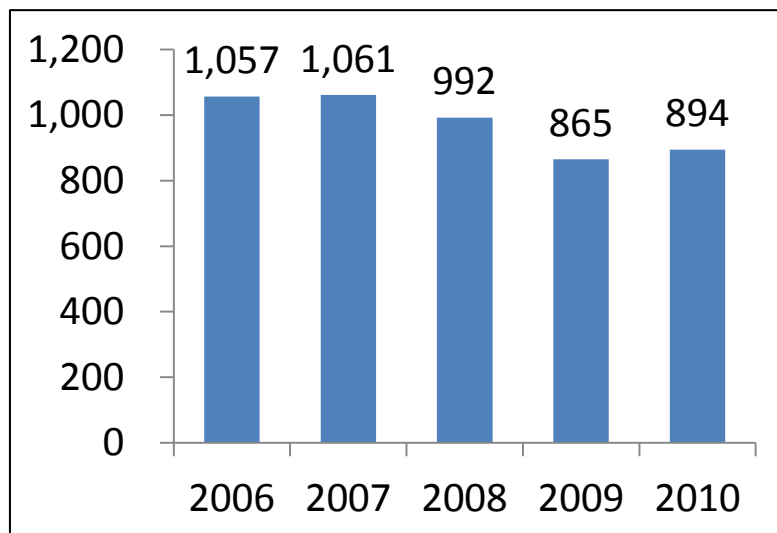
(単位：億円)	2009年度	2010年度	前年差	(前年比)
営業収益	865	894	29	(103.3%)
空港運営事業	582	582	0	(100.0%)
商業事業	241	270	29	(111.8%)
鉄道事業	42	42	0	(100.6%)
営業費用	739	703	▲ 36	(95.1%)
売上原価	84	104	20	(124.0%)
施設運営等経費	350	335	▲15	(95.8%)
減価償却費	305	264	▲41	(86.5%)
営業利益	126	190	65	(151.5%)
営業外収益	95	79	▲ 17	(82.5%)
うち政府補給金	90	75	▲15	(83.3%)
営業外費用	212	186	▲ 26	(87.9%)
うち支払利息	209	182	▲27	(87.1%)
経常利益	9	83	74	(895.4%)
当期純損益	1	73	72	－

(注1) 億円以下四捨五入。

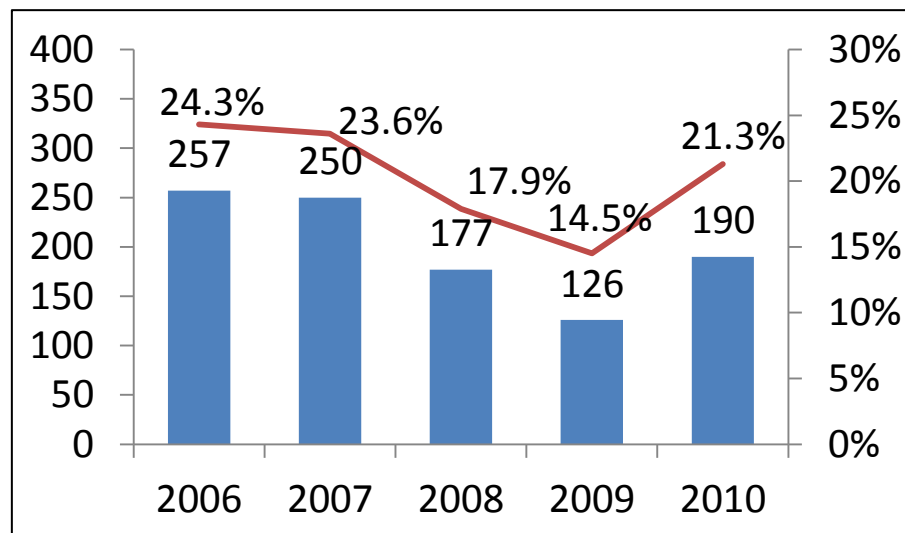
(注2) 端数処理の関係で合計が一致しない箇所がある。

2. 経営指標の推移 [連結]

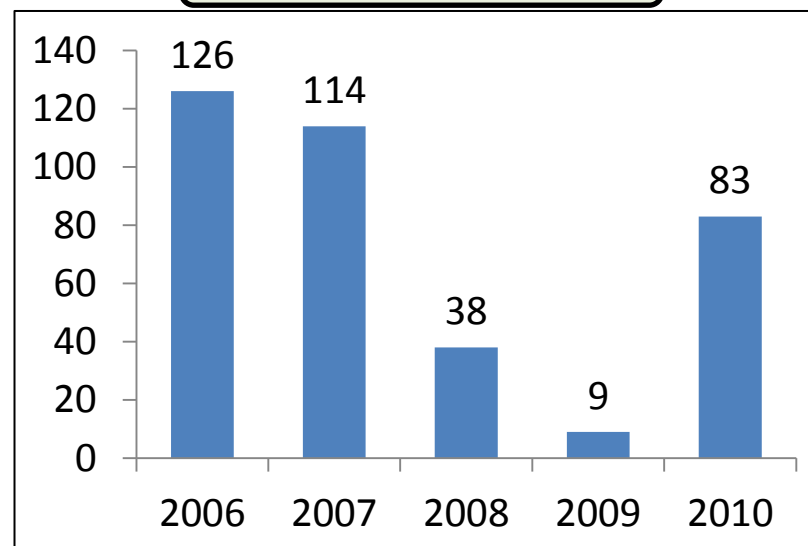
営業収益



営業利益・営業利益率

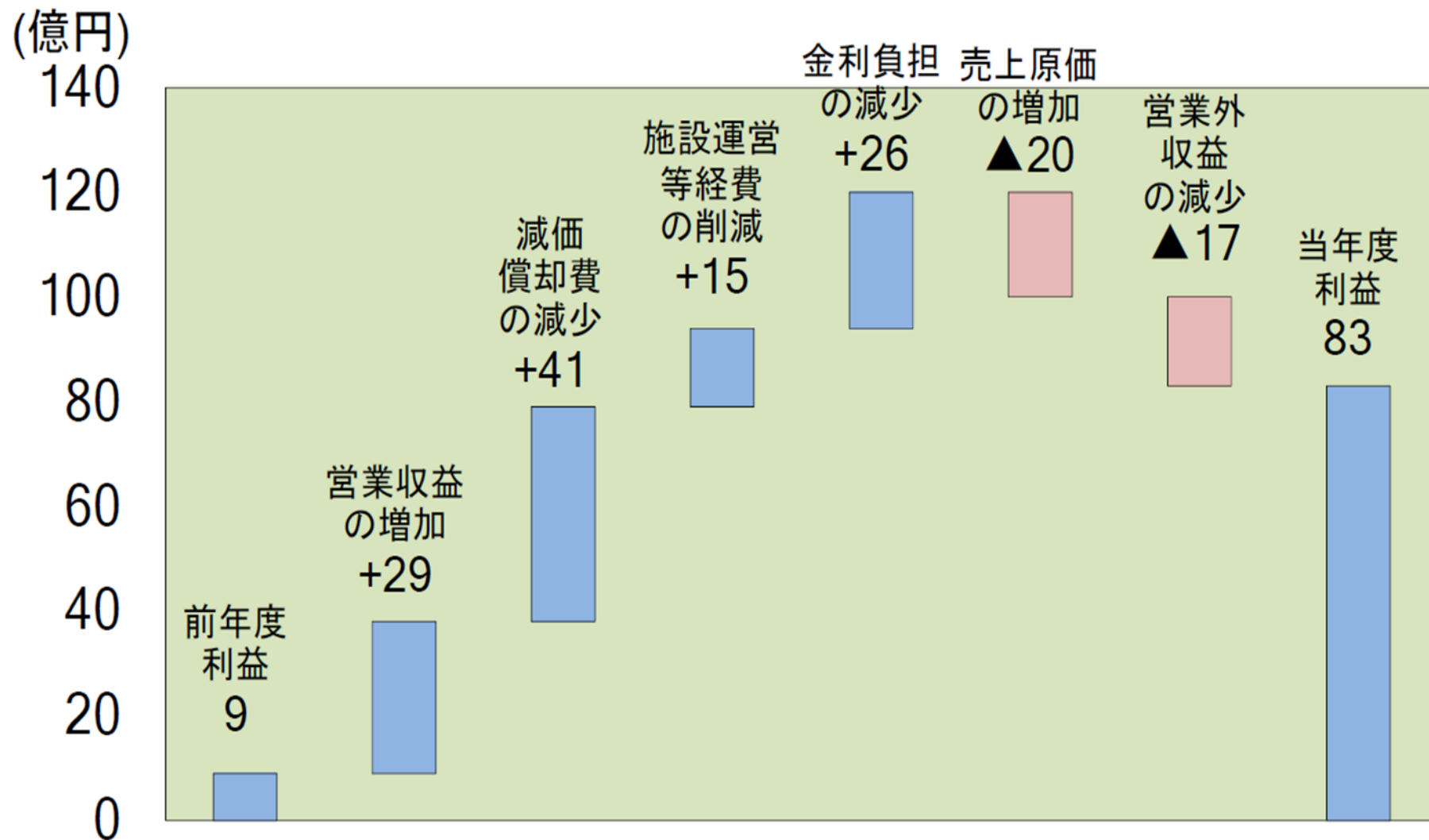


経常利益



(注)
 すべて億円・年度。

3. 経常利益の増減分析



4. 財政状態の概要（連結貸借対照表）

（単位：億円）	2009年度	2010年度	増減
流動資産	214	181	▲33
固定資産	18,942	18,753	▲189
資産合計	19,156	18,934	▲222
流動負債	1,661	1,916	255
固定負債	11,502	10,940	▲562
負債合計	13,163	12,856	▲307
株主資本	5,990	6,075	85
少数株主持分	3	4	1
純資産合計	5,993	6,078	85
負債・純資産合計	19,156	18,934	▲222

5-1. キャッシュ・フロー（CF）の概要

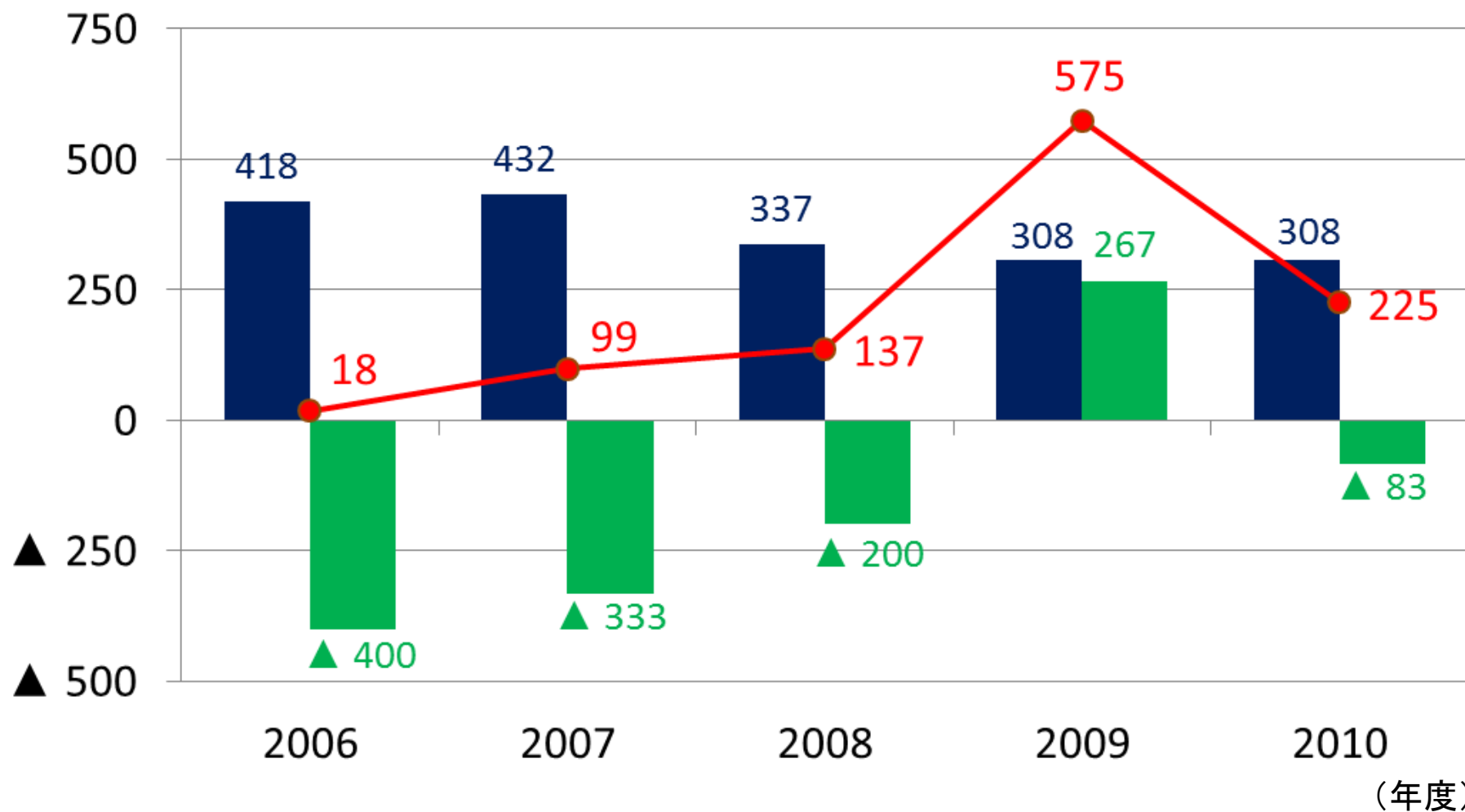
[連結]

(単位:億円)	2009年度	2010年度	増減
営業CF	308	308	1
投資CF	267	▲83	▲350
フリーCF	575	225	▲349
財務CF	▲652	▲263	389

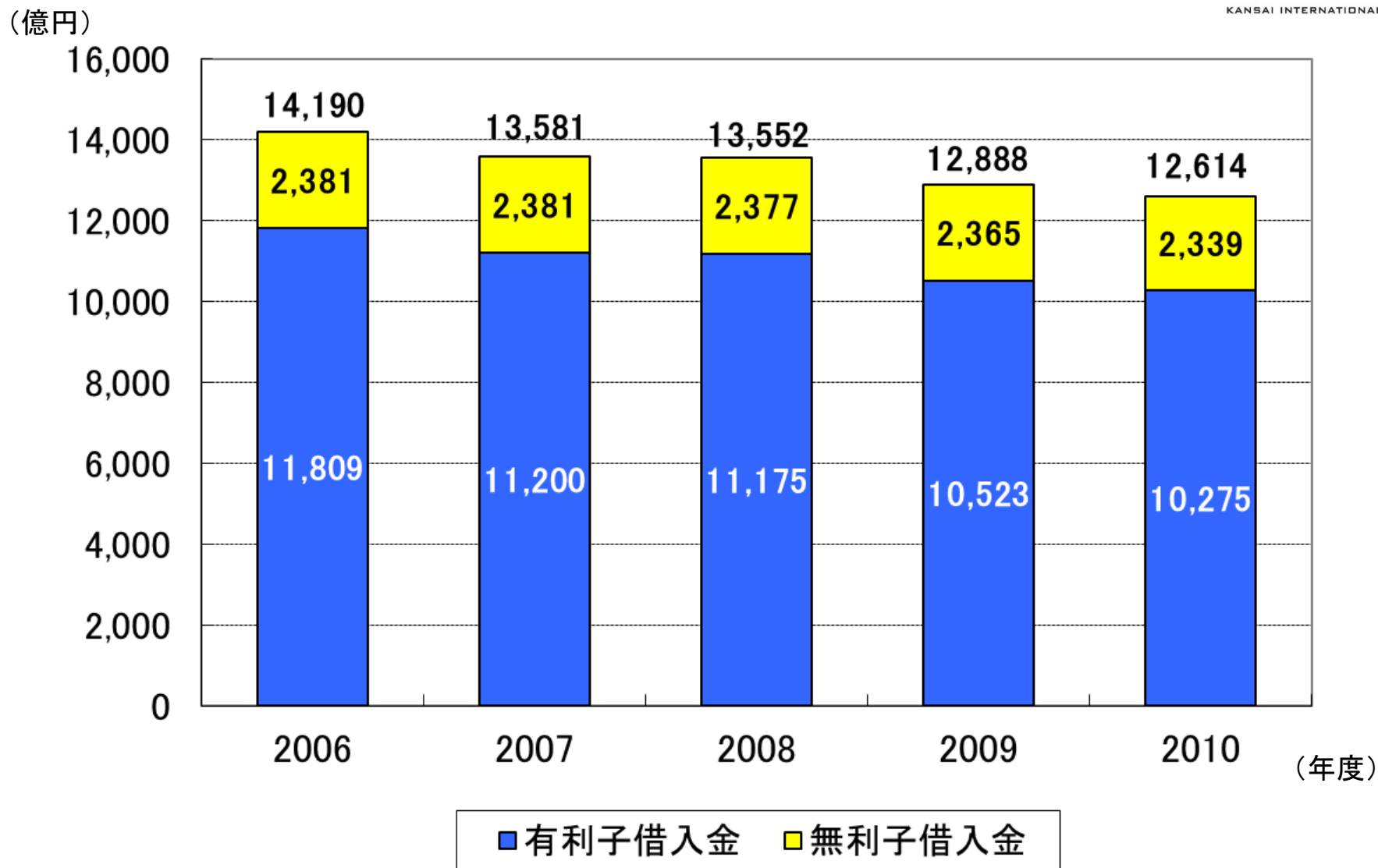
5-2. 連結キャッシュ・フローの推移

(億円)

■ 営業キャッシュ・フロー ■ 投資キャッシュ・フロー ● フリー・キャッシュ・フロー



6-1. 債務残高の推移[連結]

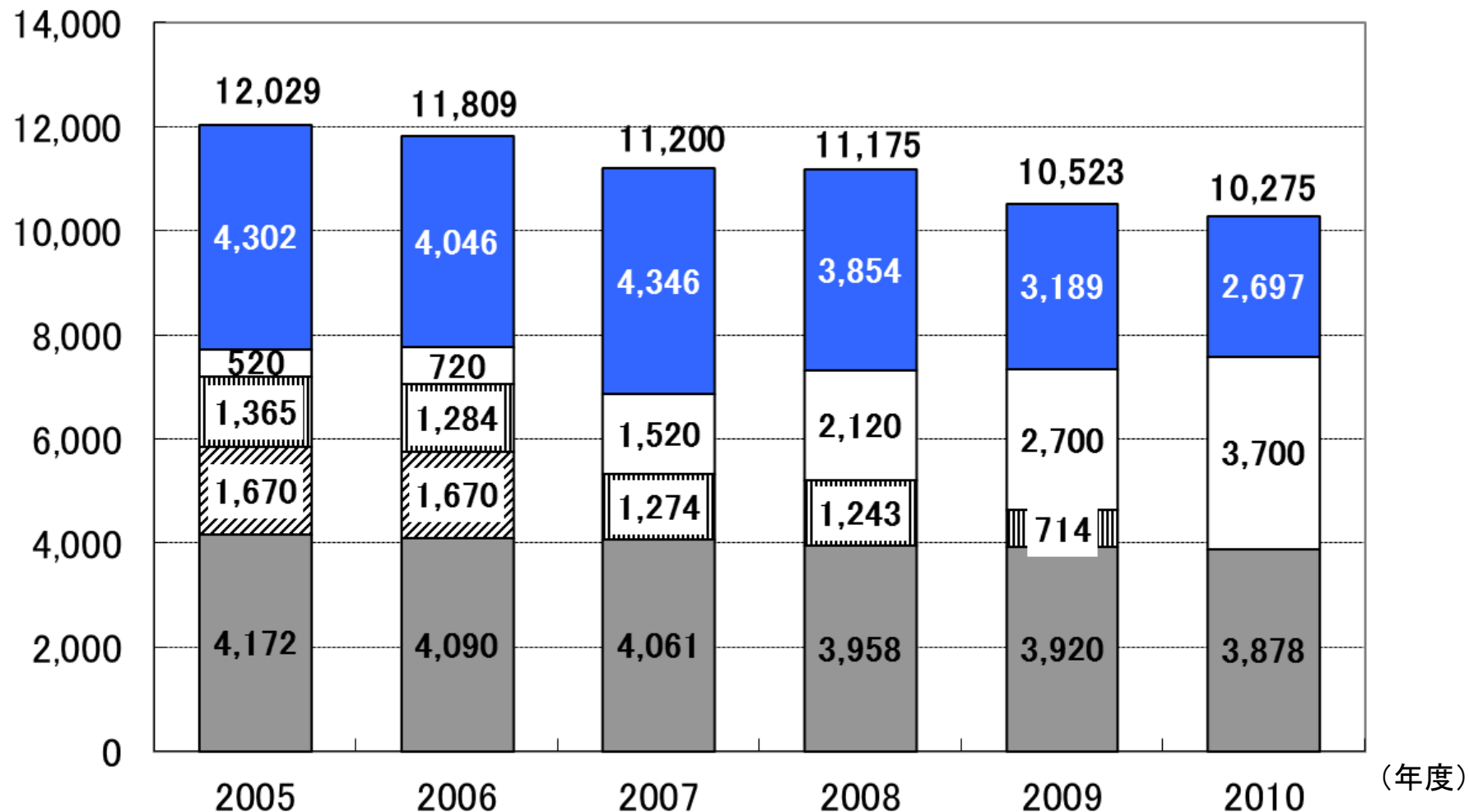


(注1) 億円未満四捨五入。

(注2) 端数処理の関係で合計が一致しない箇所あり。

6-2. 有利子負債残高の推移[連結]

(億円)



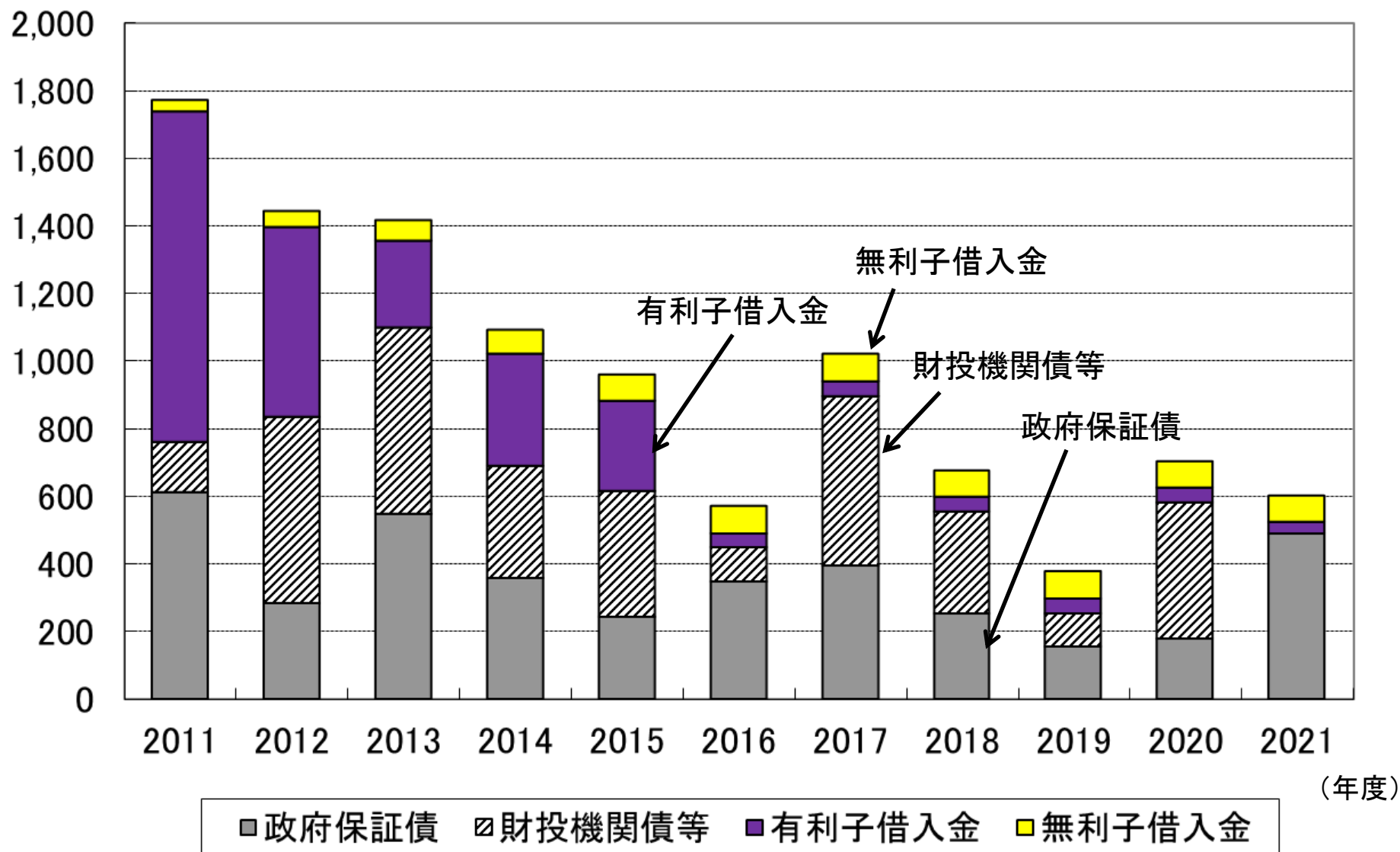
■政府保証債 ■短期政府保証債(4年) ■特別債 □財投機関債 ■有利子借入金

(注1) 億円未満四捨五入。

(注2) 端数処理の関係で合計が一致しない箇所あり。

7. 今後の債務償還予定[連結]

(億円)



(注1) 億円未満四捨五入。 (注2) 端数処理の関係で合計が一致しない箇所あり。

8. 2011年度の資金調達予定

○2011年度 事業計画ベース

区分	金額(億円)
政府補給金	75
政府保証債(10年)	490
財投機関債 等	1,267

(注1) 関西国際空港(株)に係る計数である。

(注2) 億円未満四捨五入。

9. 当社に対する格付

○ムーディーズ・ジャパンより、取得している格付

⇒長期債務格付:Aa2

○(株)日本格付研究所より、取得している格付

⇒長期優先債務格付:AA

○格付投資情報センターより、取得している格付

⇒発行体格付:AA-

10. 関空・伊丹の経営統合に伴う当社債の取扱い

既存債券や今後の債券発行に関する主なポイント

1. 「統合事業運営会社」は、政府の100%出資であり、「土地保有会社」は、「統合事業運営会社」の子会社。
2. 経営統合時における、現在の関空会社の債務は、「統合事業運営会社」と「土地保有会社」との連帯債務。
3. 「統合事業運営会社」と「土地保有会社」が発行する債券には、現在の当社債と同様、一般担保が付与され、また、国による債務保証も可能。

【本説明会に関するお問い合わせ】

関西国際空港株式会社 財務部 資金グループ

<TEL>072-455-2126

<FAX>072-455-2044

<住所>

〒549-8501

大阪府泉佐野市泉州空港北 1 番地

関西国際空港会社ビル

<ホームページ>

<http://www.kiac.co.jp/> [関西国際空港（株）]

<http://www.kansai-airport.or.jp/> [関西国際空港]

- ・ 本説明会は、当社の2010年度決算等について、投資家の皆様に情報提供することを目的とするもので、債券の募集または売出を意図したものではありません。
- ・ 本説明会資料中にあります、将来の予測や見通し等に関する事項並びに数値は、不確定な要因を含んでおり、将来の業績を保証するものではありません。